

2010(仏暦2553)年9月10月合併号 (第57号)

# 万行寺寺報

Mangyoji Jiho

発行

浄土真宗本願寺派

万行寺 山崎信充

〒385-0003

長野県佐久市下平尾461-1

電話 0267-67-2460



## ■住職法話

ざんげ さんたん

懺悔も讃嘆もない社会

## ■お知らせ

本山参拝旅行募集について

報恩講のご案内

## ■編集後記

※今号は「仏事のイロハ」はお休みします

## Photo

浅間山を望むソバの畑です。もうしばらく  
しますと、収穫、そして新ソバの季節にな  
ります。食べ歩きをされる方もおられるこ  
とでしょう。私もソバ好きですから楽しみ  
です。

# 住職 法話

## 懺悔も讃嘆もない社会

一昨年、アカデミー賞受賞で話題になった「おくりびと」という映画がありました。葬儀、それも納棺という仕事を通し、様々な死の縁を感動的に描いたストーリーで、私にとりましても職業柄身近な視点で鑑賞しました。

ところで、その映画の原案とされているのが、作家の青木新門さんの「納棺夫日記」という著書です。その青木新門さんのことにつきまして、学ばせていただく機会をいただきました。

「納棺夫日記」によりまずと、青木さんは、いわゆる納棺夫という葬祭業に関わる中で、迷いいつしか宗教書を手

当たり次第読むようになっていたと言います。その中で、不思議な光に出会い最も明確な回答を与えてくれたのは、親鸞であると仰ります。

著書や新聞記事など、青木さんに関するものを読ませていただきました。その中でも、七年前の『本願寺新報』の「ニュースを読む」という欄で一年間（十二回）書かれていた記事に目がとまりました。当時の時事を、仏教、特に親鸞聖人の教えを交えて的確に論じられている内容でした。当時の時事ですが、どの回も、今と全く変わらなく読める、ハツと気づかされる記事ばかりでした。

「白装束の集団」と題した、当時、白装束でわけのわからない集団がニュースになり、カルト的集団（教団）を話題に取り上げ、宗教の本質というものを示されます。

親鸞聖人がお書きになった『教行信証』を読み説くと、本物の宗教の教祖には懺悔と讃嘆がある。現代にみるカルトの教祖は、様々な聖典から時代に合うような言葉ばかりを並べ立て、なるほどと思わせたりするが、おのれ自身に懺悔や讃嘆もないと言います。

あさましの慙愧も  
むねにある  
ありがたの歓喜も

むねにある  
慙愧、歓喜の

なむあみだぶつ  
妙好人・浅原才市の詩にも  
たとえています。慙愧（懺悔）  
という申し訳なき、そして歓  
喜（讃嘆）という喜びも伴っ  
て、然るべくして感謝するお  
念仏があふれてくるというこ  
とが宗教の本質であります。  
テレビのグルメ番組で、魚  
の活き作りがピクピク動くの  
を「かわいそう」とは言わず  
「うまそう」と言つて騒ぐの  
にたとえて、我々は懺悔も讃  
嘆もない社会に生きていると  
言われます。本物の宗教の必  
要性を感じたことでした。



## 本山参拝旅行募集の予告

しんらんしようにん かいだいおんきほうよう  
親鸞聖人750回大遠忌法要

# 西本願寺団体参拝と初秋京都の旅

平成23年は、浄土真宗の宗祖 親鸞聖人しんらんしようにんがご往生されて750年という大きな節目を迎え、本山の京都・西本願寺で大遠忌法要だいおんきほうようが勤められます。

つきましては、その大遠忌法要だいおんきほうようにお遇いし、初秋の京都を満喫する団体参拝旅行を計画致しました。お誘い合わせの上、この機会に是非お参りいただきますようご案内申し上げます。

日程:平成23年 9月15日(木)～9月16日(金)

10月11日(火)～10月12日(水)

↑日程は、現在、どちらかで調整中です

費用:35,000円(参拝懇志含む、人数により変わる場合があります)

人員:40名(定員で締め切らせていただきますのでお早めに)

長野・東北信各地発着・全行程バス西本願寺(大遠忌法要/帰敬式/書院、飛雲閣

拝観、境内散策/門前町買い物)/嵐山・嵯峨野散策など予定

### ※おすすめポイント

①浄土真宗を開かれた親鸞さまの50年に一度という貴重な法要であることです。今度は、また50年後です。私たちはまずこの世にいないと思います。

②西本願寺境内は世界文化遺産に登録されています。この法要にあわせた、御影堂の平成大修復を終えました。また、書院、飛雲閣など、この機会でないと思えない所も拝観します。世界遺産にふれてみませんか!?

③仏弟子の名のり「釋〇〇」という法名をご門主からいただく儀式「帰敬式」が受けられます。生前にいただくのが本来です。これを機会に是非とも!



申込予約問い合わせは、万行寺まで

# 報恩講のご案内



—大切なご縁をいただきますよう—

浄土真宗の宗祖 しんらんしょうにん 親鸞聖人は、1263（弘長2）年1月16日に90歳で  
ご往生されました。報恩講ほうおんこうというのは、そのご命日しょうにんにあたって、聖人のご苦  
勞をしのびつつ、如来さまの真実の願いに気づかせていただく、私たち真宗門  
徒にとりましていちばん大切なお勤め（法要）です。1月は本山（西本願寺）  
への参拝がたてまえなので、一般の寺院やご家庭では取り越してそれ以前に勤  
められています。万行寺では、毎年10月の最終日曜日になっています。

下記により「報恩講」を執り行います。ご一緒に正信偈しょうしんげのお勤めをした後は、  
住職ぼうわの法話があります。その後は、茶話会で日ごろの悩みなど皆さまと語り合  
う場になります。お誘い合わせて、気軽にお参り下さいますようご案内致しま  
す。

日 時： 2010（平成22）年 10月 31日（日）  
午後2時～4時（2時間ほど予定）

会 場： 万行寺 [佐久市下平尾461-1]

持ち物： 念珠ねんじゆ（数珠じゆず） お持ちの方は式章しきしょう、経本きょうほんなど

## 編集後記

お伝えすることが重なって  
しまい、九月に発行する号  
が、この合併号として発行  
することになってしまいました  
した。予告もなく、大変申  
し訳ございませんでした。  
この欄をお借りして、お詫  
び申し上げます。◆ご案内  
の本山参拝旅行は、まだ予  
告の段階で、日程は二案の  
どちらかになります。決ま  
り次第お知らせします。と  
にかく五十年に一度という  
貴重な法要です。一年先の  
事ですが、まず行きたいと  
いう方の予約申込の受け付  
けを始めます。◆お参りな  
どのご縁で皆様におすす  
め  
していきま  
す。と思いま

